



社会福祉法人
恩賜財団 **済生会**
おんしざいだん さいせいかい

済生会とは

明治44年2月11日、明治天皇は、時の総理大臣 桂太郎を召されて「恵まれない人々のために施薬救療による済生の道を広めるように」との済生勅語に添えてお手元金150万円を下賜されました。

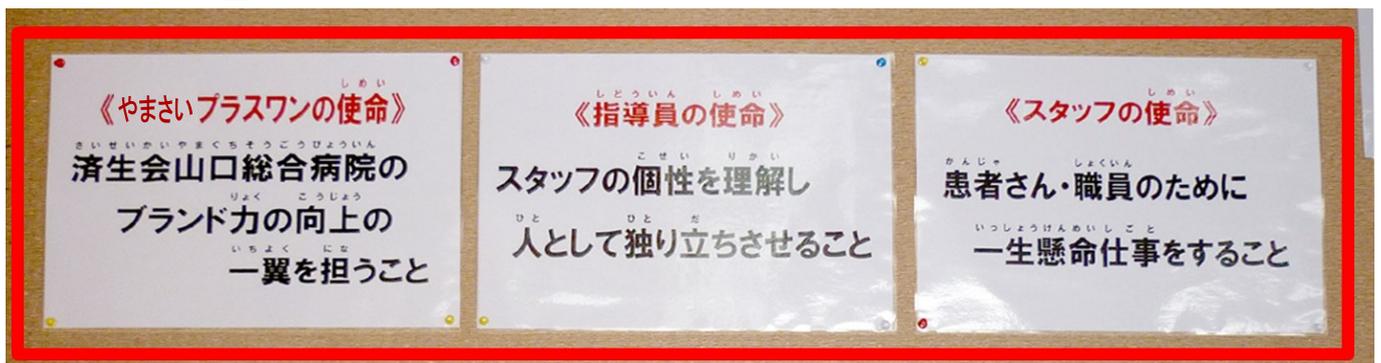
桂総理はこの御下賜金を基金として全国の官民から寄付金を募って同年5月30日に恩賜財団済生会を創立しました。

※施薬救療…医療を受けられない人々を無償で治療して救済すること



明治天皇

■ プラスワンの誓い



自分たちが何をすべきか、いつも胸に置いておけるように…



■ プラスワンからのメッセージ

プラスワンは、他の企業とは少し違う特色をもっています。自分の特性を活かして日々の業務を頑張ってもらいたいのはもちろんですが、いっぽうで「障害者就労のモデルとなる企業」も目指しています。それはプラスワンのスタッフが、働きやすい職場を自分たちで創っていくことで「うちも真似したい」と思う企業が増え、障害者就労の拡大につながると考えるからです。実習生の対応や新メンバーの定着支援もみんなで考えながら行っています。そんなプラスワンでぜひ、自分の可能性を試してみませんか？

■ 社会的責任・地域貢献

